

和合

No.115
2017.2.20

題字：三浦修次



あそびの広場 in 響ホール

(“ひまわりっ子広場”のひとコマ)

主な掲載記事

おらほの民俗行事 2
むかしあそび 2
おっきぐなれの～ 3
こんにちは！栄養士です 4
年中夢求 4
亀治からのメッセージ 5

よつぱっこ通信 6
こうなってほしちゃ 6
健康レシピ 7
わごう交番 7
もっしえけの～ 8、9
地域インフォメーション … 10

おらほの民俗行事 [No.12]

本山祭

連枝部落会長 齋藤 俊一

最上川のほとりにある連枝は、開村以来、最上川の洪水に悩まされ続けてきました。明治2年にも大洪水があって、連枝・沢新田は甚大な被害を受けました。その実情を調査するため、酒田県庁から検査官として派遣された本山^{もとやま}盛徳^{もりのり}はこの惨状を見て、新たに川を掘削して川の流れを変えるしか方法がないと判断。自ら設計して予算を立て、政府に届けを出し、一刻を争うことで許可を得ないまま工事に着手しました。これを知った政府は、このような大事業を許可も得ないまま行うことは許されないと中止を命じまし

た。しかし、本山は一日も工事を延ばすことはできないとして、命令には服しませんでした。

そして、翌明治3年、新川掘削の工事は完成。この工事により川が松山側に押し返されたため、これまでの河川敷地が耕地としても利用できたのです。

このような本山盛徳の偉業功績に感謝して、鎮守厳島神社境内に本山盛徳の碑を建立して、毎年11月23日に新穀祭^{しんこくさい}と合わせて、厳島神社役員・部落役員・氏子有志が参加して祭典を行い、偉業を讃えています。

部落内でも若い方は、どのよ

うな祭なのか知らない方もいるかと思います。みなさんからも知っていただき、後世に伝えてほしいと思います。



▲ 本山盛徳報恩碑
(鎮守厳島神社境内)

むかしあそび 鬼の面づくり

画用紙で鬼の面をつくり、節分や鬼ごっこに使った。節分の時は、「鬼は外、福は内」と言って、豆をまいた。

かまくらづくり

かまくらをつくる大きさに雪を積み上げて、外側から中の雪をしゃぶろで掘り出して、かまくらをつくった。

かまくらが出来ると中に^{わら}藁むしろ^{しちりん}をしいて、七輪でもちを焼いて食べたり、かるたとりなどをして遊んだ。

※しゃぶろ…スコップ



おひな様見

節句の日は堅苦しい礼儀を抜きにして、どこの家にも、おひな様を見に行くことができた。

「おひな様を見にきた」と言うと、どこの家でも家の中に入れて、おひな様を見せてくれた。

子ども達は、おひな様を見るより、目の前にあるようかん、かんてん、ひな菓子をもらうのが楽しみだった。1人ではなく数人が組になって、おひな様を見に歩いた。

昭和20年代～、
当時の子ども達はどんな遊びをしていたのか…
遊び道具の少ない時代、
創意工夫された懐かしい遊びを紹介

長南一美氏 [ダシ風物語記念館 館長]

はやい、あきぐなれの～

パパ・ママにインタビュー

- ①名前の由来は？
- ②今一番の興味やハマっている遊びは？
- ③最近のエピソードは？
- ④パパママの失敗談（子育てあるある）
- ⑤パパママからのメッセージ

- ①いろんな人に慕われ、慕う人になるように。
- ②飼い猫を追いかける。（高速ハイハイで）
- ③具合が悪い時に体温計を持ってきて、渡してくれた。
- ④補充したての砂糖と塩を床にザバーっとこぼされた。
- ⑤いつも笑顔と笑いをありがとう。わんぱくでもいいから元気に育ってね。

丸山 ^{ひろと} 熙人 < くん
(前田野目)
平成28年1月24日生まれ
パパ：洋志 / ママ：望



日下部 ^{たいが} 泰雅 < くん
(前田野目)
平成28年1月25日生まれ
パパ：翔汰 / ママ：怜奈



- ①おおらかで、優しさ溢れる子に育ってほしいと思い名付けました。
- ②鏡に映る自分と遊ぶこと。猫に興味津々です。
- ③バイバイを覚え、仕事に行く前、元気に手を振り返してくれたことがとても嬉しかったです。
- ④夏前に大量にかわいい夏服を買ったのにサイズが全然合わず、着れずに終わってしまった…。
- ⑤たくさん遊んで泣いて笑って元気な子に育ってね！泰雅は、パパとママの宝物です。

高橋 ^{ひな} 陽菜 ちゃん
(前田野目)
平成28年1月29日生まれ
パパ：一歩 / ママ：晴香

- ①太陽のように明るく、菜の花のように愛らしい笑顔の子に育ってほしいと願いを込めて。
- ②家具の陰に隠れて、顔を覗かせること。
- ③おじいちゃんが大好きすぎて、見つけるとハイハイで猛ダッシュ(笑)。
- ④おむつをワンサイズアップしたら、あまりに大きくて、ぶかぶかだったこと。
- ⑤小さく生まれた陽菜。心配だったけど、元気で笑顔いっぱいな子に育ってね。



こんにちは！
栄養士です。



庄内町栄養士
齋藤 裕美

健康的な
食生活について

現代の食生活は低栄養!?

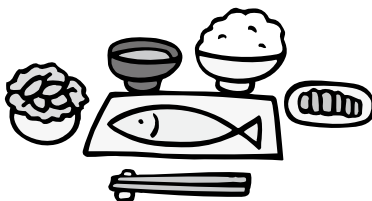
食生活が豊かになり、好きなものを好きなだけ食べられる時代となりましたが、食事の乱れや偏りなどが原因で、健康な体を維持するために必要な栄養素に過不足が生じ、生活習慣病や低栄養になる人が増えています。

低栄養の状態が続くと、抵抗力が落ち、病気にかかりやすく、回復に時間がかかったり、転倒や骨折をして介護が必要な状態になることもあります。

日頃の食生活をふり返り、規則正しく栄養バランスのとれた食事を心がけるようにしましょう。

食べることは健康の基本です

- ☐ 1日3食規則正しくバランスのとれた食事を心がけましょう。
- ☐ 魚・肉・卵・大豆製品のどれかを毎食食べましょう。
- ☐ 牛乳・乳製品・小魚や海藻類などでカルシウムを十分にとりましょう。
- ☐ 食塩のとりすぎに注意しましょう。
- ☐ こまめな水分補給を心がけましょう。



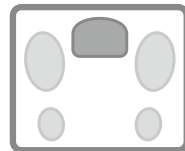
自分でわかる 低栄養のめやす

※ BMIが18.5未満

BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

※BMIとは…
大人の体格(身長・体重のバランス、肥満度など)
を示す国際的な目安になるもの

6カ月間に2～3kg
の体重減少がある。



ねん じゅう む きゅう 年中夢求

～2020への挑戦!!～ Part-4

楽しい野球スポ少

余目野球スポーツ少年団キャプテン

6年 土田 勇斗 (堤新田)

ぼく達、余目野球スポーツ少年団は余目一小から四小までの25人の団員でがんばっています。練習は、毎週火・土・日曜日の3回です。試合は4月から11月まであります。

ぼくは、守るよりも打つ時のほうが楽しいです。バットのしんに当たるとすごく飛んでいて気

持ちがいいです。

去年は、「ろうきん杯」で3位入賞、「荘内日報杯」で準優勝できてうれしかったです。

試合は、もちろん楽しいですが、練習でも紅白戦をしたりするので、入ってからすぐに野球を楽しむことができます。

毎年ある4年生以下のみ参加のTボール大会では、新人でも力の差があま

りなくスタートには、ぴったりです。今年、ぼく達が卒業すると四小の団員がいなくなります。やればやるほど楽しくなる野球が、ぼくは大好きです。スポーツをまだやっていない人に、ぜひおすすめします。女子也大歓迎です。



亀治からのメッセージ なつかしい風景 ～ちょこっとむかしの農業～

雪踏み、堆肥運びに汗にじむ。頭を垂れる稲穂夢見つつ。

堆肥運び

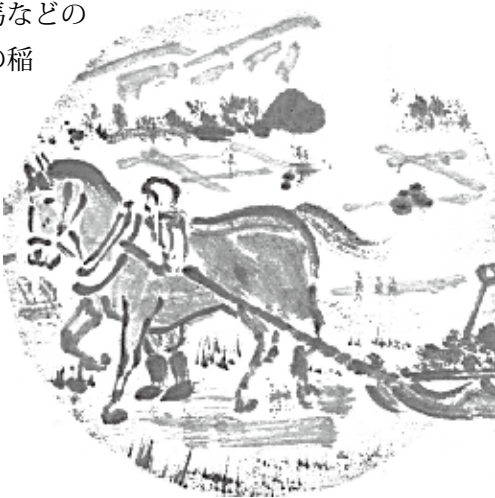
大寒（1月20日）ころから寒が明ける（2月4日）ころまでが1年で一番雪が深い。その雪を利用し、馬そりなどを使って丹精込めて作った堆肥運び作業が行われる。

田んぼの畦畔がどこにあるのかわからないほど、一面が真っ白い雪野原であっても、農家各々が圃場を間違えもせず、農道を外れた自分の圃場の中心地点に堆肥を運んだ。圃場ごと必要に応じた量の堆肥が積まれた。

春、雪解けを待って圃場全体均一にホークなどを使って、手作業で散布された。現在のように化学肥料のなかった昔は、牛馬などの

排泄物と大量の稲

ワラなどを素材に1年ほどかけ黒々と完熟した堆肥を作り、土作による米の豊饒に励んだ。



種漬け

3月になると春一番「種漬け」今日で言う浸種（稲の種子を水に漬けて休眠打破と吸水により均一な萌芽や出芽を計る）に入る。はじめに塩水選をして充実した種子をそろえて、水洗いした後に種俵に入れ、種漬けされた。

現代のように家々に水道が通っていなかった昔は、もっぱら河川や溜池、湧沼を利用して種漬け作業が行われた。特に、雪解け水の冷たい河川に稲ワラで編んだ種俵を浸す作業



は手足がかじかむつらい作業であったが、今年も丈夫な苗を作り、秋の実りを期待しながら夢のふくらむ稲作りの第一歩でもあった。

苗代打ち

トラクターはもちろん、耕運機もなかった昔は、田や畑は人か牛馬で耕した。

苗を育てる水苗代は、

1枚ごとの面積も狭かったことや家際で排水も悪く軟らかかったので鍬を使って人力による耕起であった。前作の稲株をすべて抜き取り、細かく耕された。また、強風から苗を守るための風囲いを廻し、細心の注意を払って健苗作りに励んだ。



松浦一字氏（資料館運営協議会委員）



亀ノ尾の里資料館

企画展「雛（ひな）人形展」

同時開催

冬の展示「わら仕事・冬の民具」

期間：2月25日（土）～4月3日（月）

時間：午前9時00分～午後9時00分

※3月6日（月）…全館清掃のため

午後5時00分～9時00分開館

第四幼稚園 よつぱつこ通信

雪 ゆき遊びって 楽しいな～！

今年は、雪のないお正月を迎えましたが、中旬になり雪国ならではのパウダースノーがどっさり積った日、子ども達は「待ってました！」とばかりに外に飛び出していきました。小学校の築山や広い園庭で雪遊び・・・それは四幼ならではの『オリジナルのそり』（地

域の方から教えていただいた肥料袋にワラが入っている、より安全な手作りそり）に友達や先生を誘い合い、2人組になったり、ひとりでさっそうと山から豪快に滑り降りる楽しさ…何ともいえないスリル満点です。雪玉をコロコロ転がし、大小さまざまな雪だるまを作ったり、みんなでシャベルでエッサカホイサカと雪を掘り、積み上げて大きなかまくらを作ったりと、その日は楽しい子ども達の歓声が冬空いっぱい響き渡りました。



▲ スリル満点！
ワラ入り肥料袋の四幼オリジナルそり

せんせい、あのね！

*雪深いところにいたある男の子
〇〇くん:せんせい！雪の中に僕の足おぼれだー！

*真っ白な雪の中で女の子
△△ちゃん:ふわふわしていてお空の雲の上にいるみたい!!



6年生のみんなが願う『和合の里』の未来像

第四小学校

こうなってほしいちゃ 和合の里



みんなが笑顔で明るく、元気よい和合の里になってほしいです。自然も大切にしてほしいです。

伊藤 ^{ゆうな} 佑菜 (西袋)



ぼくは、これからずっと米づくりがさかんで、すてきな笑顔がたえない和合であってほしいです。

百瀬 ^{みつぎ} 光希 (小出新田)



犯罪などが全くない、平和で安全でみんなが協力してくらせるような地域。

佐藤 ^{まな} 真菜 (廻館)



ぼくが思う和合の里の未来像は、みんなが楽しく明るくなることです。あいさつも四小のじまんにするようにしてほしいです。

三浦 ^{あさひ} 旭陽 (福島)



わたしは、自然豊かな平和な町になってほしいです。山形は、災害の少ないのでこのまま平和でずっといたいからです。

澁谷 ^{みお} 心桜 (南野)

健康しシビ

材料(5人分)

小松菜……………1束 (下茹で3cm幅に切る)	サラダ油……………大さじ1
玉ねぎ……………1/2ケ(薄切り)	おろしニンニク……………1片分
豚もも肉……………100g(せん切り)	しょうゆ……………大さじ3
人参……………1/2本(太めのせん切り)	オイスターソース……………大さじ5
	中華スープ……………大さじ2

作り方

フライパンに油を熱し、ニンニクを炒める。
香りが出てきたら豚肉・人参を加え、さらに玉ねぎを入れて、火が通ってきたら小松菜と調味料を入れ混ぜ合わせる。

小松菜の中華炒め



ひとくちメモ

アクが少なく、ミネラルたっぷりの小松菜は、洗ってそのまま、下ゆでしないで調理ができます。手早くさっと炒めて、シャキシャキした食感とほどよい苦味を楽しみましょう。

葉 全体に厚みがあり
色合いが鮮やかで、葉先
までピンとしているもの。

茎 ハリのあるもの。

根本 太くて、ハリのある根本からは、
5本ほど茎が伸びている。丈夫な育ち
方をしている小松菜を選ぼう。

「くらしのきほん」より

選び方

野菜 | 小松菜

わごう交番

防ごう！雪害事故

昨年度の雪害事故による被害(庄内地区)
48件発生 3人死亡 45人負傷

屋根の雪下ろし時の注意

昨年度、庄内町でも2人が屋根から転落!!

■動きやすい服装で、命綱、ヘルメットを着用し、
2人以上で作業、はしご等はしっかり固定しましょう。

落雪による被害の注意

■屋根からツララや雪塊が落下してケガをする事故があるので、軒先は特に注意しましょう。

■子供は、軒下では雪遊びしないようにしましょう。

外した側溝のフタは元の位置に戻す!!

例年、町内でフタを外したままの隙間部分に足を落としてケガをするという事故が発生しています。

Topics(トピックス)

水尾正昭さん(南野)の 立哨活動に「小さな親切実行章」

公益社団法人「小さな親切」運動本部(東京都)は、「多年にわたり、毎朝南野公民館前交差点に立ち、児童の通学路安全確保などの立哨活動は賞賛に値する」とし、水尾さんに対して「小さな親切実行章」を贈った。

1月20日、庄内警察署で贈呈式が行われ、酒田「小さな親切」の会会長から実行章が手渡された。



もっしえっけのまだ、かだっでの～！

（ひまわりっ子広場）3歳児と養育者対象の遊びの広場 ひまわりっ子広場に参加して

まりこ
成澤真理子さん（西袋）

ひまわりっ子広場は、毎回楽しく参加することができました。普段家庭で過ごしている息子にとって、同じ年のお友達と遊ぶことは良い経験だったと思います。

特に息子が楽しんでしたのは、鶴岡消防署までバスに乗って行った遠足だと思います。乗り物が大好きなので、消防自動車の前で何度も写真を撮りました。その後の公園遊びでは、全身びしょ濡れになるまで遊び、楽しみました。

月に1回の活動の中で、子ども達は少しずつお友達の名前を覚えたり、社会のルールを知ったりしたと思います。4月からの幼稚園生活への自信に繋がればいいなと思います。

子ども達を見守ってくださった公民館のみなさん、支援センターの先生方に感謝申し上げます。



つばさ
▲ 敬礼ポーズの翔くん
(鶴岡消防署にて)

（和合大学院“悠遊塾”） いつまでも健康で！
65歳以上の高齢者事業

有意義な時間を 仲間とともに



ゆきお
鈴木幸雄さん（南野新田）

今年度、和合大学院“悠遊塾”に入学しました。

5月の開講式から始まり、加茂水族館見学、手向地区散策、ラフターヨガと軽体操、県庁（県議会傍聴）とNHK山形を訪れた「大人の社会科見学」、第四幼稚園を訪問し園児とのふれあい、12月修了の会をもって今年度の活動を楽しく終えることができました。

このような機会がないとなかなか行くことができなかった場所もあり、悠遊塾の仲間と一緒に見学できたことは、大変貴重で有意義な勉強になりました。

毎回、楽しい企画を本当にありがとうございました。

（ジュニカレ和合塾） 四小4～6年生対象の地域担い手育成事業

楽しかったベスト5！

りおん
5年 佐藤里音くん（大真木）

ぼくは、今年初めてジュニカレに参加しました。その中でぼくの楽しかったベスト5を発表します。

5位干し柿作り。自分で柿をむいて食べられるようになりました。4位は、ざっこしめ。ぬちゃぬちゃして楽しかったです。3位ほうき作り。ほうき1本を作るのにこんなに手間がかかるとは思いませんでした。2位加茂水族館。自転車で行く予定でしたが雨のため電車になりました。助かりました。アシカと握手ができて、うれしかったです。そして第1位は、宿泊研修です。夜中までマクラ投げやこわい話をして、楽しすぎて寝られませんでした。

家では体験できないことを地域の方々や公民館の方々に教えていただき、本当にありがとうございました。



たくさん思い出！

ことみ
6年 國井琴心さん（返吉）

ジュニカレでの思い出は、たくさんありますが、その中で5年生の時の活動で陸上自衛隊の見学と体験をしたことと、四公に泊まったことが一番の思い出です。

自衛隊では、行進や敬礼の仕方を教えてもらったり、ヘリコプターの中に入れてもらったり貴重な体験をして、楽しかったです。四公での宿泊研修は、みんなでアイスを食べたり、枕なげをしたことが忘れられません。

ジュニカレでは、地域の人との交流もできて、たくさんのことを学びました。参加したことで友達や地域の人達との「きずな」が今まで以上に深まったと思います。

たくさん思い出をありがとうございました。



（おやこ元気塾） 四小1～3年生親子対象の地域担い手育成事業

思い出いっぱい元気塾

3年 徳田悠真くん(古関)

ぼくは、おやこ元気塾でいろいろな体験をしました。特に鳥海山登山が心に残っています。登りがきつかったけど、何回も休けいを取りながら少しずつ登って、みんなで登りきりました。登りきって鳥海湖を見ながら食べたお弁当は、最高においしかったです。それに、上に登ってからの景色は特にきれいで、一面見渡すかぎりの緑の景色は、登った人でなければ見られない特別なものでした。おやこ元気塾にいつも楽しく参加することができ、たくさんのことを学ぶことができました。



4年生になったらジュニカレ和合塾にも参加してみたいです。

◀ あいにくの雨…。でも、雨具を着てカート乗車体験を楽しみました！
(9月の活動／カートソレイユにて)

もっしえけの～

母 徳田亜沙美さん

おやこ元気塾には、2年生から参加させていただき、2年間お世話になりました。

何気なく聞いた「おやこ元気塾に参加してみよう？」の質問に「行きたい!!」と、やる気満々で答えた息子。おやこ元気塾に参加し、1回2回と活動していくうちに、私も息子もどんどん楽しくなってきました。そして、1年の活動が終わるころには、私の方がおやこ元気塾のとりこに。

“こんなところがあったんだ”の発見や“こうやって作るのか”の驚き、工夫を凝らした企画でいつも楽しく活動することができました。

家庭では体験することのできない貴重な体験を通し、息子の「やってみたい」のやる気が増し、積極的に活動している姿を見て、参加してよかったと思いました。

（町民大学歴史民俗学部） 歴史に興味を持った方が集う一般町民対象の学びの場

町内外の文化財を巡って…

阿達俊一さん(吉方)

6月23日の開講式に続いて「修験道と現代」について山伏星野尚文氏の講義に始まって、全5回の文化財めぐりが行われました。

7月の秋田市の国指定重要文化財「三浦館」、8月の庄内町三ヶ沢の「乳いちよう」、9月の南陽市の国指定文化財史跡「稲荷森古墳」と高畠町の「うきたむ風土記の丘考古資料館」など勉強させていただきました。10月は、遊佐町で行われた「民俗芸能公演会」を鑑賞しました。宮城県大崎市との交流とあって、普段観ることのできない公演も観る



「現地研修…
乳いちよう
[霊輝院]
(三ヶ沢) ▶



ことができ、大変良かったです。遊佐町には、信仰心の厚い多くの人が「山参り」と言って、鳥海山に集まってきたそうです。今の羽黒山の手向地区のような宿坊は残っていませんが、蔵岡口には今でも当時の繁栄を思わせる建物が残っています。また、鳥海山の参拝者を集めて吹浦の「傘踊り」や「杉沢比山」などのたくさんの民俗芸能が残っているそうです。

次の機会でも見ることをできればと思います。

平成28年度庄内町表彰式・体育協会表彰式

第四学区 **たくさんの方が受賞！**

～みなさんの功績に拍手～

庄内町総合表彰式 が1月6日響ホールで行われ、それぞれの分野で功績のあった方々に表彰状が贈られた。

【表彰状】 工藤 健(新田目) 元庄内町統計調査員
齋藤 真希(南 野) スポーツ振興(円盤投)
佐藤 美羽(南 野) スポーツ振興(女子バスケット)

【感謝状】 志田 征子(古 関) 元庄内町民生委員・児童委員

庄内町体育協会表彰式 が1月8日狩川公民館で開催され、多くの方々が活躍され受賞。

【勲功章】 バスケットボール

佐藤 美羽(南 野) 山形市立商業高等学校3年

【栄光賞】

陸 上 齋藤 真希(南 野) 鶴岡工業高等学校1年

齋藤 早希(南 野) 東京女子体育大学4年

野 球 本間 汰一(福 島) 鶴岡東高等学校3年

卓 球 加藤 光咲(主殿新田) 四小3年

剣 道 佐々木千祐(廻 館) 余中3年

ソフトテニス 渡部 梨花(吉 方) 羽黒高等学校3年

ウエイトリフティング

長谷部達也(古 関) 酒田光陵高等学校2年

バスケットボール

國井 美砂(返 吉) 鶴岡信用金庫

佐藤 夢衣(南 野) 鶴岡信用金庫

余目女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

長南 未唯(連枝) 5年 長谷部芹菜(古関) 5年

長南 玲実(連枝) 4年



弓 道 門脇 可歩(前田野目) 鶴岡南高等学校3年
体 操 齋藤ひかり(吉 方) 四小1年

【奨励賞】

陸 上 齋藤 紅葉(沢新田) 余中2年

卓 球 高橋 悠(本小野方) 四小6年

奥山 堅也(古 関) 余中3年

剣 道 小林ひなた(連 枝) 四小3年

佐々木千祐(廻 館) 余中3年

富樫 啓吾(本小野方) 余中2年

体 操 齋藤 星空(吉 方) 四小4年

ソフトテニス 富樫 涼(小出新田) 余中2年

余目第四公民館・亀ノ尾の里資料館

4月1日指定管理スタート

—和合の里を創る会設立—

効率的な組織運営及び地域づくりのため、「和合地域づくり会議」「第四学区部落会長会」「余目第四公民館運営協議会」を一体化する「和合の里を創る会」を昨年10月17日に設立しました。「和合の里を創る会」は地域住民全員を会員とし、地区・組織を代表する方々により運営を行います。また、4月1日からは余目第四公民館・亀ノ尾の里資料館の指定管理受託者として管理運営を行います。公民館・資料館を拠点とした地域づくりを推進します。みんなで和合の里を盛り上げましょう。



▲ 佐藤一会长
(西袋)
設立総会より

これまで ———— H28 度 ———— H29 度 ————

和合地域づくり会議
第四学区部落会長会
余目第四公民館運営協議会

組織の一体化



4/1スタート

(10/17 設立)

和合の里を創る会

編集後記

2月は旧暦で如月といい、“寒くて更に衣を着る＝衣更着”が語源という説があるようだ。「そのとおり」と思いつつも日に日に春の訪れを実感する。とはいえ、まだまだ寒いこの時期、健康管理には十分気をつけ、過ぎゆく今年の冬を楽しんでいきたい。